

留学体験レポート

国際学部 2年
大野万咲
21018019

1,はじめに

私がこの留学をしたと思った理由は単純で、ただ単に外国へ行ってみたいというものでした。先輩方からの話などを聞いているうちに、素晴らしい体験ができると思い、応募しました。目的としては英語力の向上が第一でしたが、そのほかにも異文化理解、精神的な成長など多くのものを得られました。これからそんな留学で体験したことを伝えていきたいと思います。

2,アメリカでの食事

アメリカで生活していて、一番大変だったことは食事面だと思います。皆さんが想像するように、ハンバーガー、ピザ、ジュースがほとんどでした。ダイニングに行ってもそのようなものばかりでお店でもハンバーガーが多かったです。ですが次第にそんな食事にも慣れていきました。

3,アメリカでの一日

普通の平日は大体9時から授業が始まり、13時くらいに昼食、そして14時から授業再開、16時ごろに終了という感じでした。曜日によって終わる時間はそれぞれで、15時に終わる日もありました。授業はもちろん英語で進んでいくので先生が言うことに集中して聞き逃さないように努めていました。しかし、聞き取れない、理解できないところは友達同士で教えあい協力していました。授業が終わったらジムで運動をしたり、図書館で宿題を終わらせたりし、夕飯の時に友達で集まってわいわい食べてそのあとにまたジムや図書館、またはクラブ活動などをしていました。積極的にいろいろなものに参加していたため、毎日は充実していたと思います。宿題は日本よりも多かったため、夜遅くまで図書館で勉強し、閉館時間になったらみんなで寮に帰るという生活をしていました。

4,現地でできた友達

私は現地で多くの友達ことができました。友達は様々な国から来ており、インドネシア、エルサルバドル、台湾、韓国、中国、パキスタン、インド、モロッコ、チュニジア、ドイツ、エジプト、日本、アメリカなどなどです。そのため、文化の違いや言語の違いなど話していてとても楽しかったです。友達からその人の母国語での自己紹介などの仕方

を教えてもらおうと、その同じ国の別の人にそれを披露するととても喜んでもらえました。アメリカにいるのにも関わらず、韓国語、中国語、アラビア語など少しずつ学びました。

5,おわりに

私はこの留学を経験してよかったと胸を張って言えます。行ったばかりの頃は何もわからず、消極的であったことに非常に後悔しています。たった4ヶ月しかないのだから今できる最大限のことをして後悔が無いようにしてやるべきでした。ここで出会った友達、先生はかけがえのない大切な人々です。これからもこの出会い、経験を大切にしてください。これからももっと頑張っていきたいと思います。



